

# がん相談業務 (院内におけるピアサポート)

## 相談記録シート集計報告

実施期間：令和4年7月1日～令和4年9月30日

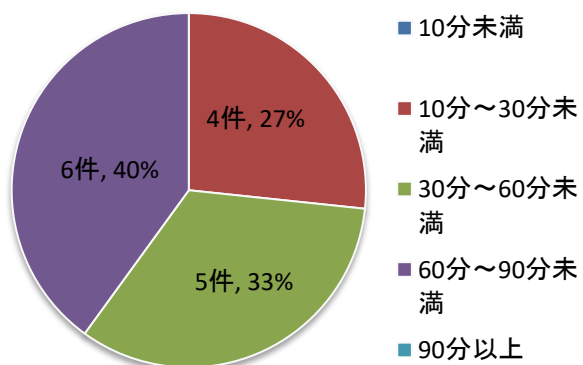
## がん相談業務（院内におけるピアサポート）集計結果

■ 調査対象期間 令和4年7月1日～令和4年9月30日

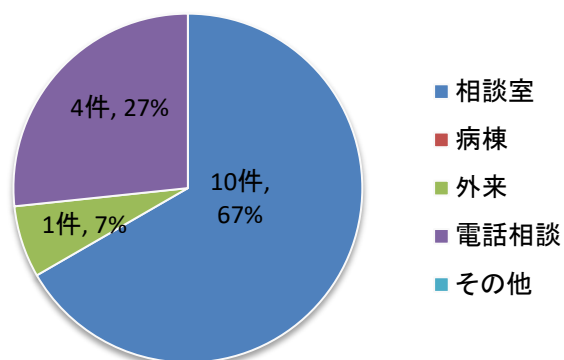
■ 調査件数 15件

相談月	件数
7月	6
8月	3
9月	6
合計	15

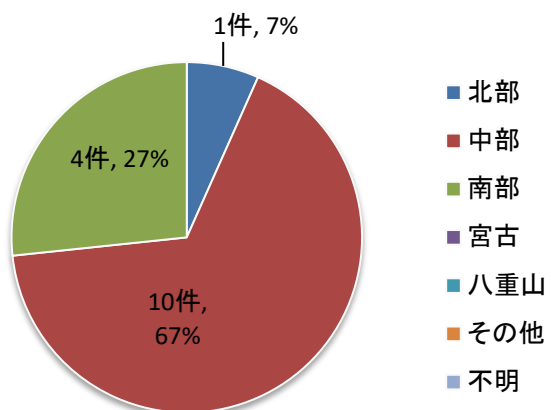
### 相談時間



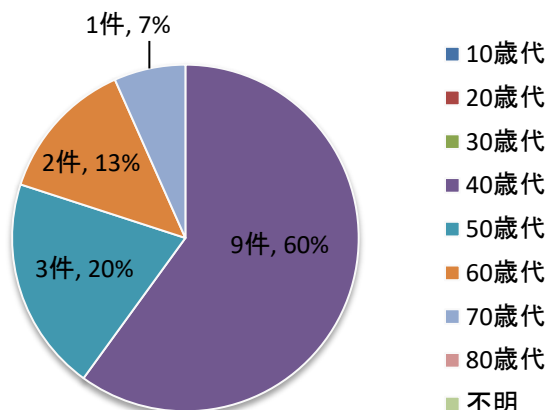
### 相談形式



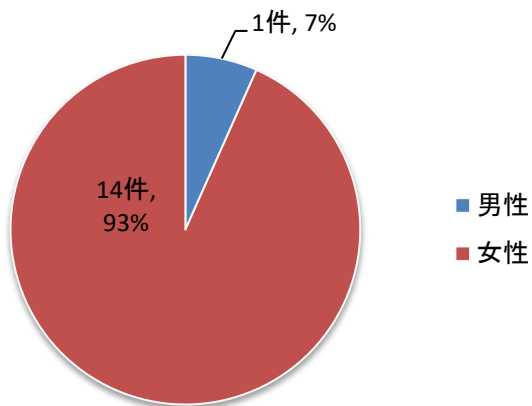
### 住居エリア



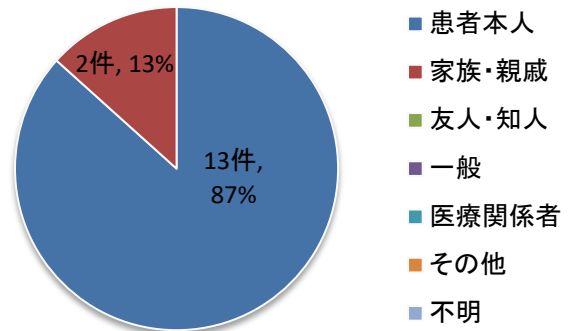
### 相談者の年代



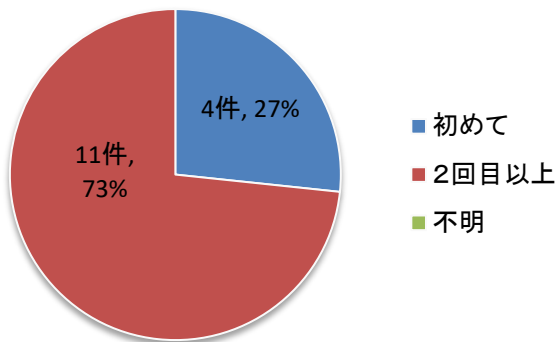
### 相談者の性別



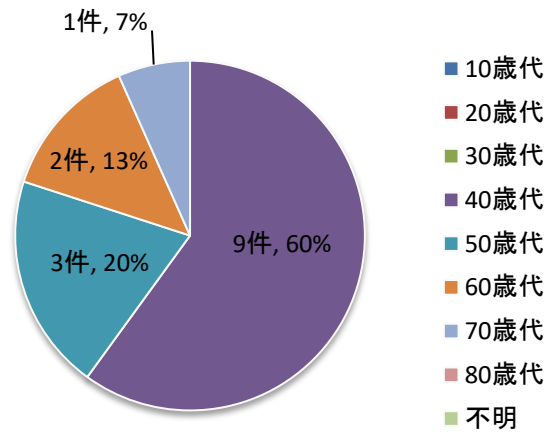
### 相談者のカテゴリー



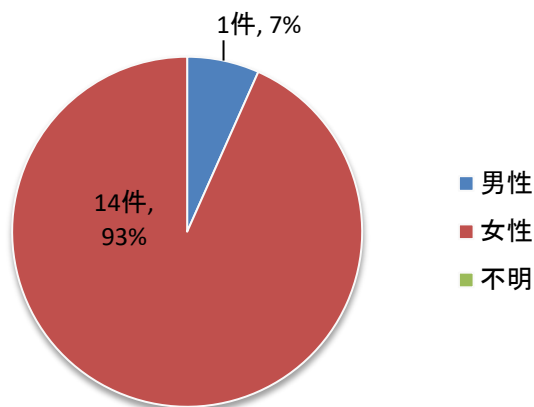
### 相談者の利用回数



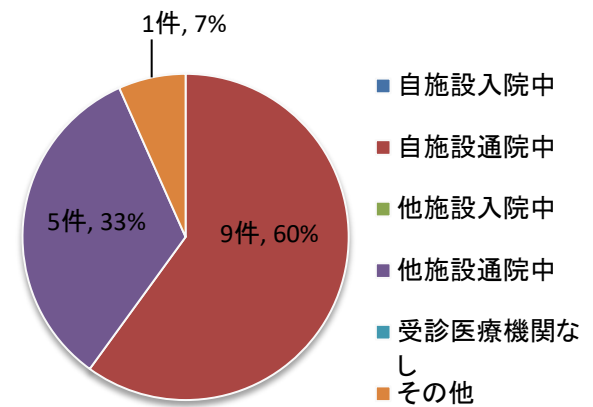
### 患者本人の年代



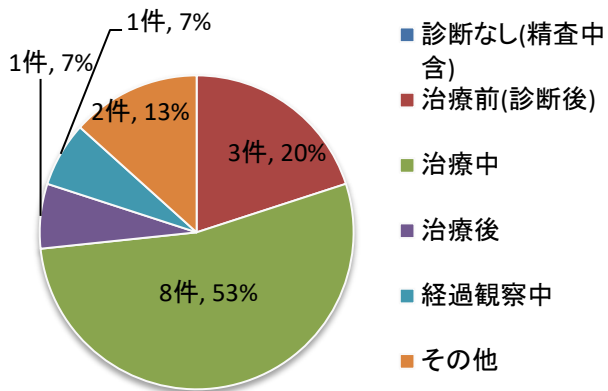
### 患者本人の性別



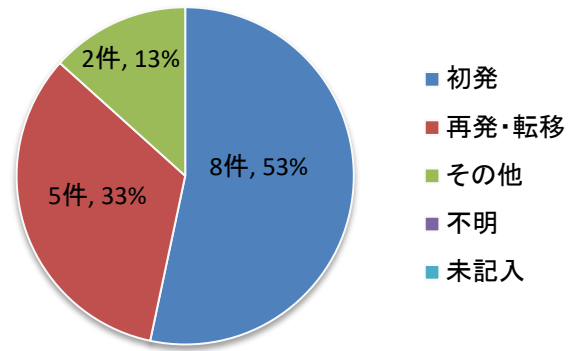
### 受診状況



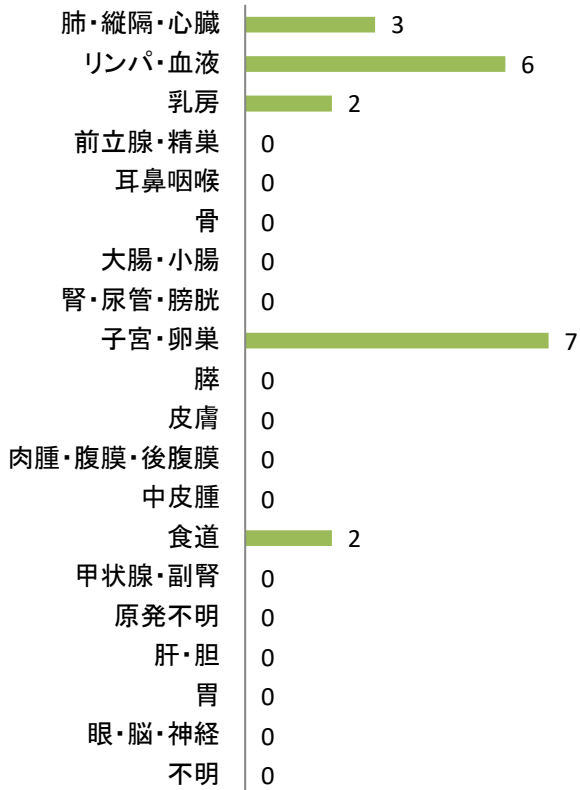
## 現在の治療状況



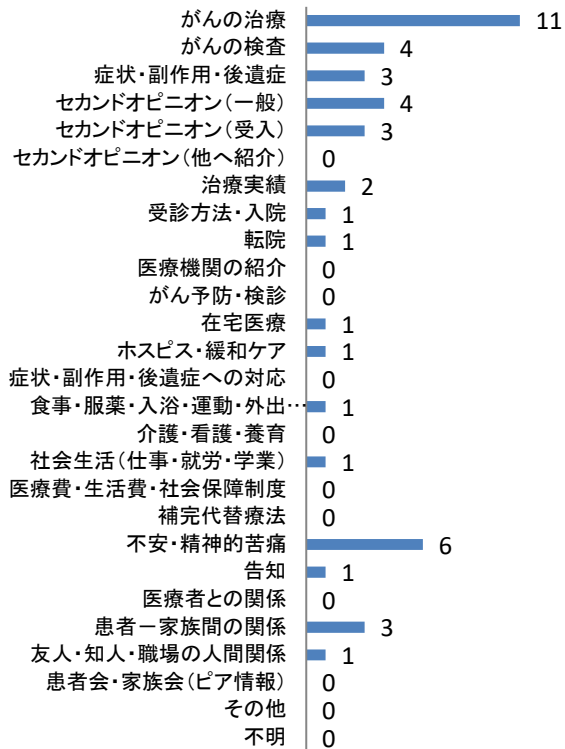
## がんの状況



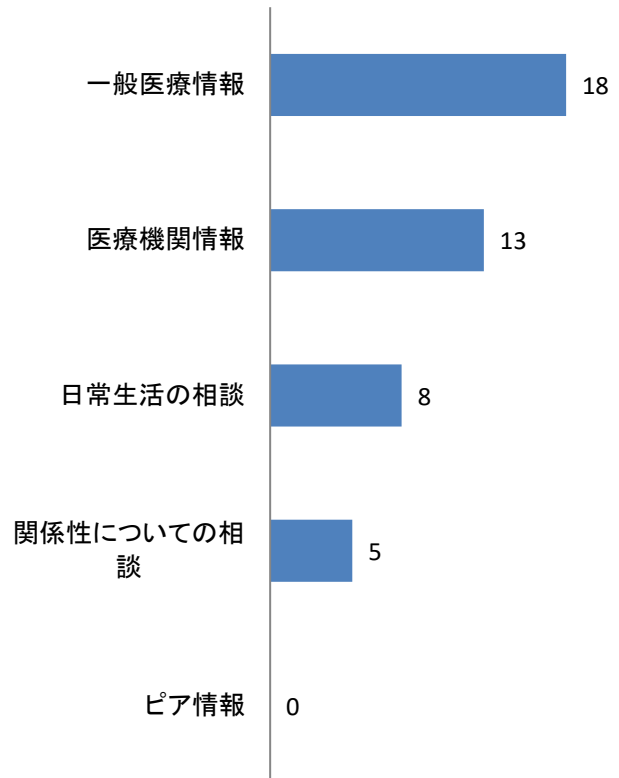
## がんの部位



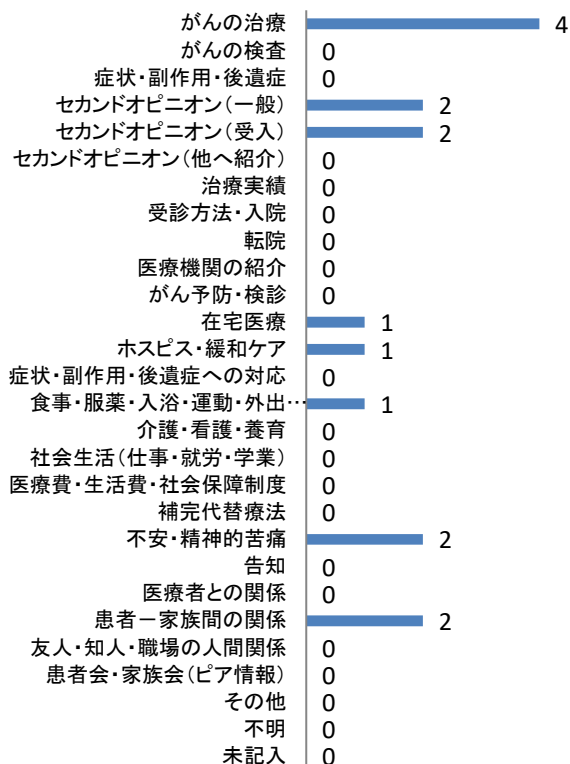
## 相談内容 (実施したものすべて)



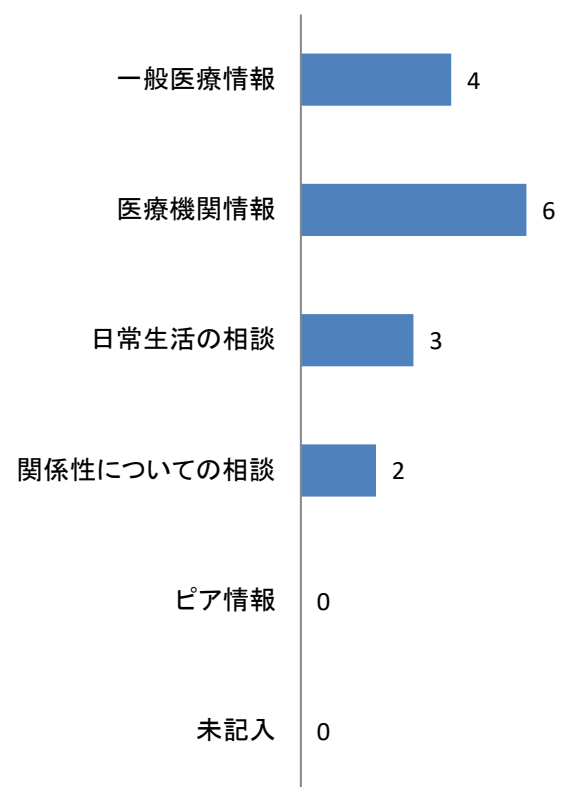
## 相談内容 (実施したものすべて・大項目別)



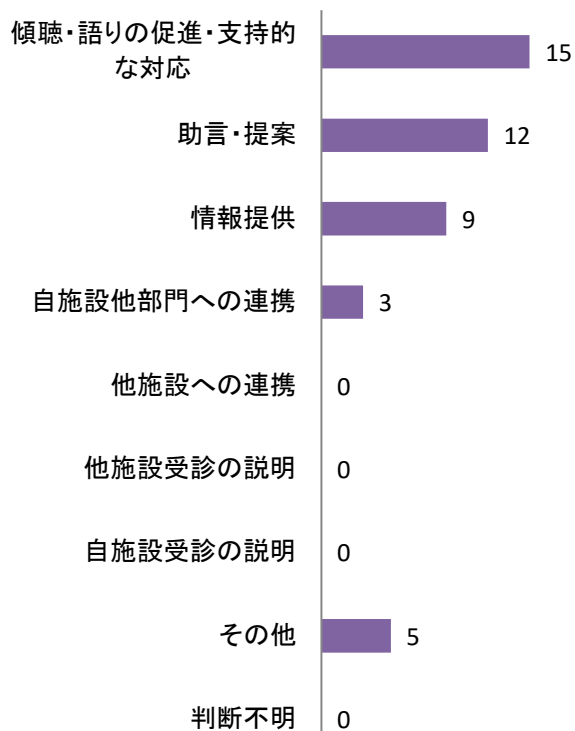
## 相談内容 (最も比重の高いもの)



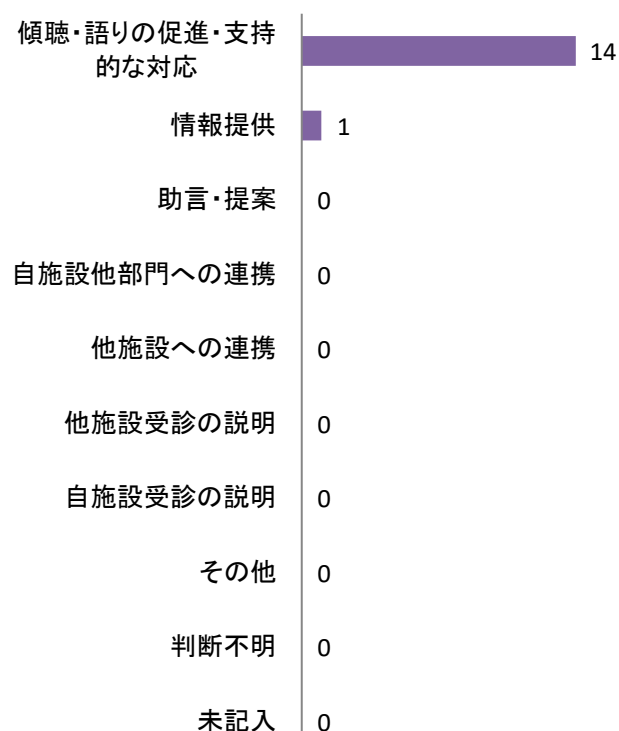
## 相談内容 (最も比重の高いもの・大項目別)



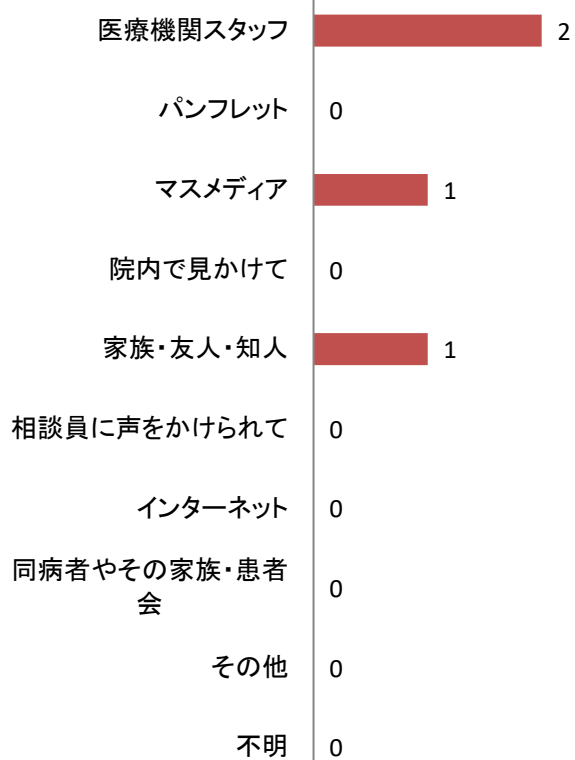
## 対応内容 (実施したもののすべて)



## 対応内容 (最も比重の高いもの)



## 認知経路



## がんピアサポーターフォローアップ研修会 開催報告

(がんピアサポーター交流会同日開催)

日時：令和4年7月23日(土) 10:00~17:00

形式：WEB開催

対象：がんピアサポーター養成講座修了生もしくはピアサポーター活動者

主催：沖縄県地域統括相談支援センター

内容：研修会 10:00~

①ピアサポーターの立ち位置

沖縄県地域統括相談支援センター 相談員 中山 富美

②ピアサポーターの成功体験

沖縄県地域統括相談支援センター 相談員 上地 久美子

③オンラインピアサポートのポイント

NPO 法人がん患者会支えあう会「α」副理事長 野田 真由美 様

④ストレスマネジメントについて

国立がん研究センター 東病院精神腫瘍科長

先端医療開発センター精神腫瘍学 開発分野長 小川 朝生 先生

⑤ロールプレイ3セッション

交流会 16:00~

① 演奏 沖縄県地域統括相談支援センター 相談員 西村 克敏

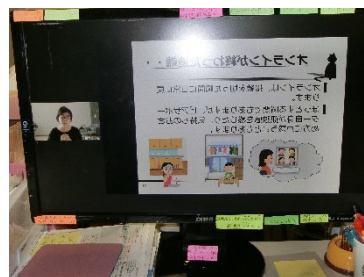
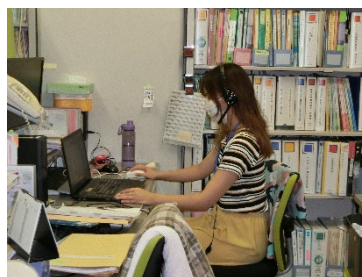
② 1年後のピアサポーターの私 フリートーク

新型コロナウイルス感染症感染者増加に伴い、WEB開催へと変更になった。

大きなトラブルなく一日終了。

参加希望者16名の内、1名オンライン不可とのことで欠席。当日欠席1名。

参加者は14名。



▲当日の様子

### 【振り返り】

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からオンライン開催とした。
- ・がんピアサポーター養成講座修了生（令和4年3月末がんピアサポーター登録者）、がん診療を行う県内医療施設、がん患者支援登録団体、がん患者会登録団体、合計147ヵ所へ案内送付、ホームページ等でも掲載し、14名参加。

今回、県全域へ周知したが、新型コロナウイルス感染症の影響で離島からの参加者はいなかった。当初は医師会館で対面で開催を予定していたこともあり、離島からの参加者はいなかったのではないかと。

- ・事前にオンライン（Zoom）接続テストを行い、対面からオンラインへ切替があったが比較的多くの方に参加していただけた。
- ・当日欠席者がいたが、ファシリテーターが代役を担いロールプレイを円滑に進めた。
- ・オンラインでも交流会を設けたことは良かった。

### 【反省点】

- ・開催日3日前に対面研修会からオンラインへの急遽変更となり、大至急資料等の準備が必要となった。
- ・前年度の反省点を活かし、ロールプレイ時の相談シナリオの配布に注意し配布できたが、ロールプレイを始める前に分かりやすくもう一度説明が必要だった。

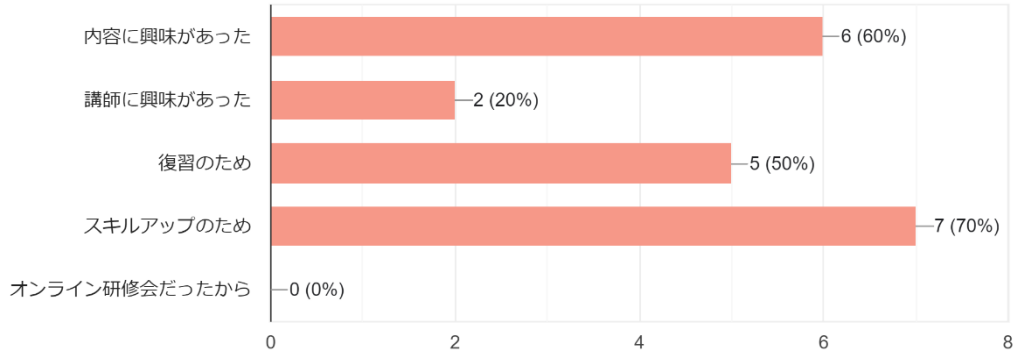
### 【今後の課題】

新型コロナウイルス感染症の影響を考え、早めからどちらの開催でも対応できるよう準備が必要である。今後WEB開催と対面開催状況に合わせて研修会を行っていきたい。



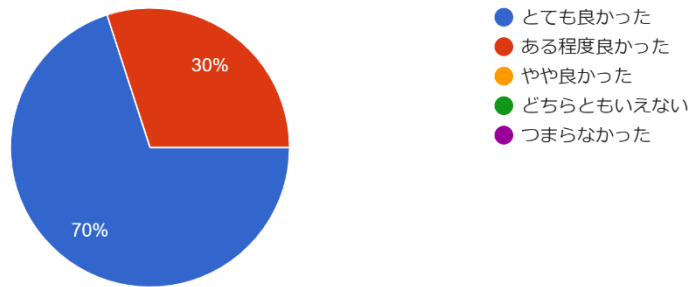
Q 1. 研修会に参加しようと思ったきっかけは何ですか？（複数回答可）

10件の回答



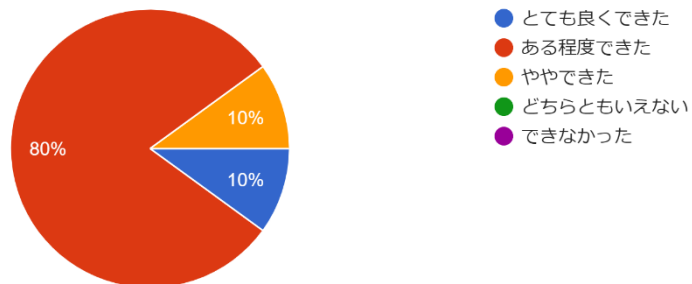
Q 2. 研修の内容はどうでしたか？

10件の回答



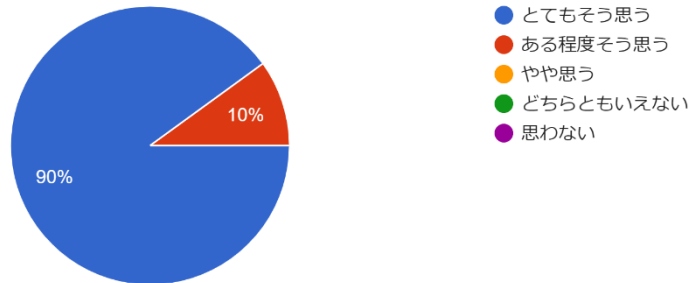
Q 3. 模擬相談演習はどうでしたか？

10件の回答



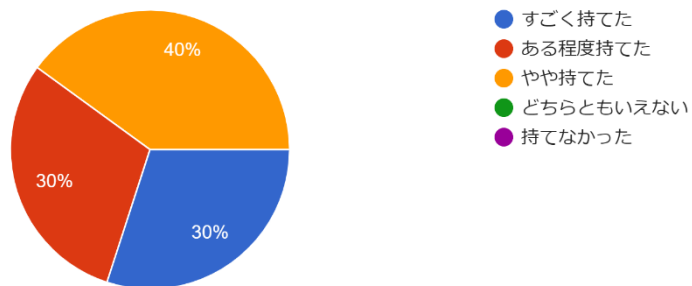
Q 4. 今回の研修はご自分のスキルアップになったと思いますか？

10件の回答



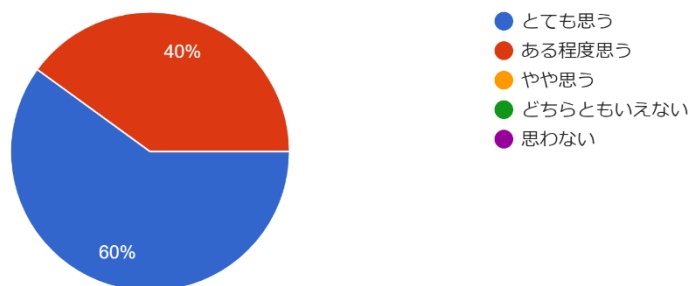
Q 5. 今回の研修でピアサポート活動に自信が持てましたか？

10件の回答



Q 6. 今後もピアサポーターとして活動したいと思いますか？

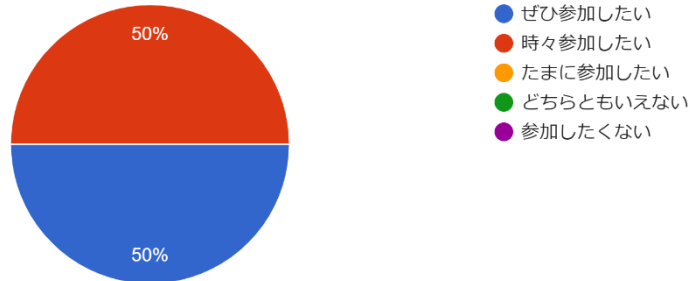
10件の回答



Q 7.

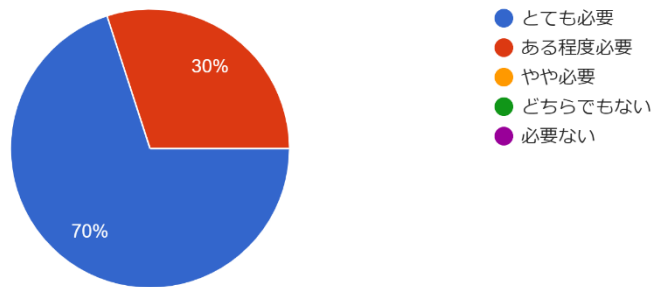
今後、沖縄県地域統括相談支援センターが主催す...等で、ピアサポーターとして参加したいですか？

10 件の回答



Q 8. 今後、沖縄県地域統括相談支援センターから研修会やイベント等のご案内を必要としますか？

10 件の回答



Q9. 今後の研修会等で何を学びたいですか？(自由記述)7 件の回答

電話でのサポートの方法

リアルタイムでの医療情報や支援内容

今回のようにロープレを実施したい。

サポーターのスキルアップ

ロールプレイをしたい、数多くやることでやり方がわかってくると思います。

様々な困難な場面を皆で考えていきたいです。

早期発見のため、経験値があまりありません。経験を生かしたサポートが厳しいのですが、いかにカバーするかが自分の課題です。



令和4年度 7月～9月

沖縄県地域統括相談支援センター 事業報告

●各拠点病院内患者サロンピアサポーター派遣

1. 各拠点病院内患者サロン

日時 令和4年 7月5日(火) 14:00～16:00

8月2日(火) 14:00～16:00

9月6日(火) 14:00～16:00

場所 琉球大学病院 大学院セミナー室

派遣者 ピアサポーター 各1名

2. 各拠点病院内患者サロン

日時 令和4年 9月22日(木) 14:00～15:00

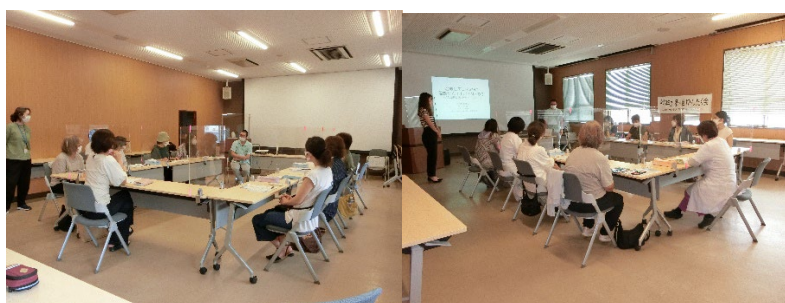
場所 那覇市立病院 (オンライン開催)

派遣者 ピアサポーター 1名

① がんピアサポーター派遣事業

第4回 沖縄県内各拠点病院院内患者サロン参加報告書

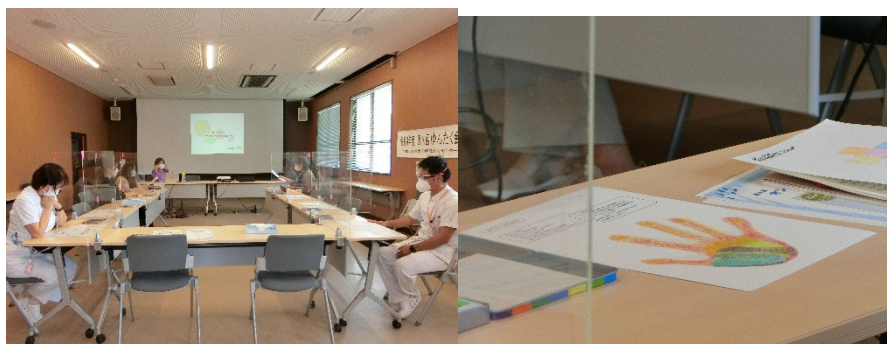
名 称	ゆんたく会（がんピアサロン）
参加目的	沖縄県地域統括相談支援センターで養成したがんピアサポーターを各拠点病院の院内患者サロンへ派遣し活動の場の創出を図る。
日 程	日 時 令和4年7月5日（火）14：00～16：00 場 所 琉球大学病院 大学院セミナー室
派遣者	がんピアサポーター 1名
引率者	沖縄県地域統括相談支援センター（事務補佐員 喜瀬）
主 催	琉球大学病院 がん相談支援センター
当日の様子	<p>・リハビリテーション医 名嘉太郎先生による講演 「治療しているのに運動なんてしていいの？～がん治療とリハビリテーション～」</p> <p>・がんそのもの、がん治療、がん経過による問題で日常生活がうまくいかないこと、生活の質が落ちていくことが起こる中、リハビリテーション治療が必要になる。</p> <p>・呼吸することも運動の1つで、身体の筋肉を動かして日常生活を過ごしている。身体を動かさないデメリットと運動するメリットを伝え、運動により体調を整える効果もあるとのことで日々の生活への運動の取り入れるきっかけになったのではないかと話した。</p> <p>・日々のリハビリに加えて環境調整を図ることも大切とのこと。出来ない所は、簡単な動きで完結するものを使用する。例えば、すくいやすいスプーンを貸出しもしくは作成。術後のリンパ浮腫を有する場合、装着補助具もしくはビニール袋を活用するなど、工夫をすることも治療の一つと話す。</p> <p><b>【フリートーク】</b></p> <p>○プールでの運動はいいのか？ →水圧がかかるので、日常の運動よりも水の中だと2段階上がる。無理のない範囲で行うこと。運動しながらお話しできる程度が丁度良い運動量。20分を週3回が望ましい。</p> <p>○先生との受け答えが気になる。 →ピアサポーター上地：先生の言うことを信じて聞きたいことはしっかり聞くようにしたらどうかとアドバイス。上地の回答より患者様も安心した様子。</p> <p>*参加者（7名）・緩和ケア看護師2名・院内スタッフ3名・ピアサポーター1名</p>



① がんピアサポーター派遣事業

第5回 沖縄県内各拠点病院院内患者サロン参加報告書

名 称	ゆんたく会（がんピアサロン）
参加目的	沖縄県地域統括相談支援センターで養成したがんピアサポーターを各拠点病院の院内患者サロンへ派遣し活動の場の創出を図る。
日 程	日 時 令和4年8月2日（火）14：00～16：00 場 所 琉球大学病院 大学院セミナー室
派遣者	がんピアサポーター 1名
引率者	沖縄県地域統括相談支援センター（事務補佐員 喜瀬）
主 催	琉球大学病院 がん相談支援センター
当日の様子	<p>カラーアートセラピスト豊見山氏を講師にお迎えし、「色と遊ぶ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りに気に入る色、心地よい色を置く事で心が落ち着く、色と心は共有しあっている。入院中は、身の周りに気に入る色を置くと良い。</li> <li>・色にはその時の気持が映し出される、自然と心にフィットする色を選んでいる。</li> <li>・色には力がある、自分らしく進む。</li> <li>・色にはメッセージがある。</li> <li>・色を楽しむ、色は心に潤いを与える。</li> </ul> <p>☆クーピー10色を使い左手で好きな色を塗った。</p> <p>一人一人それぞれのカラーがあり、現在の自分、未来の自分、過去の自分、自覚している自分、 無自覚の自分が色で映し出され、今の自分の状況を色で確認しながら楽しんでいた。 みなさんすごく興味深く真剣に取り組んでいる様子だった。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、参加者はいなかった。がん患者サロンでもカラーアートセラピーを取り入れ多くのがん患者さまの癒しや自分を知るきっかけになる企画をしたい。</p> <p>*参加者（0名）・緩和ケア看護師2名・院内スタッフ3名・ピアサポーター1名</p>

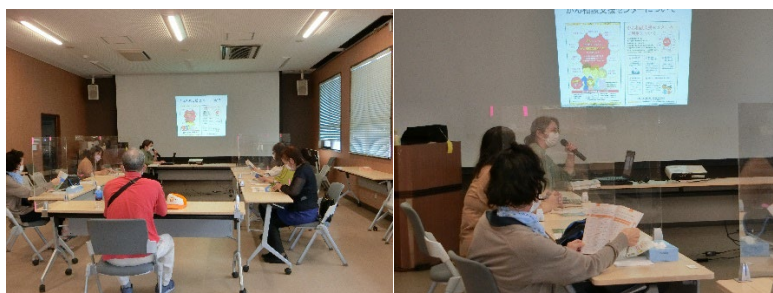


令和4年度第5回ゆんたく会活動日誌より引用

① がんピアサポーター派遣事業

第6回 沖縄県内各拠点病院院内患者サロン参加報告書

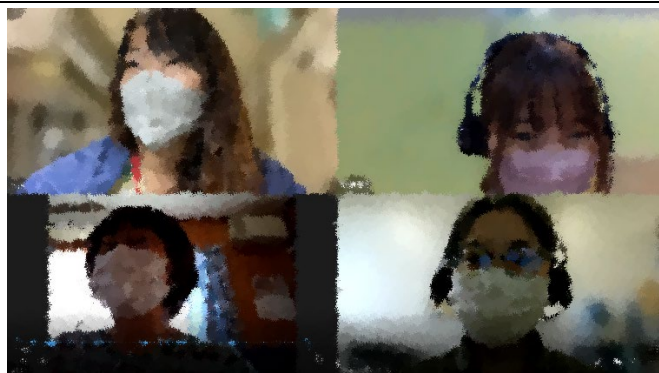
名 称	ゆんたく会（がんピアサロン）
参加目的	沖縄県地域統括相談支援センターで養成したがんピアサポーターを各拠点病院の院内患者サロンへ派遣し活動の場の創出を図る。
日 程	日 時 令和4年9月6日（火）14：00～16：00 場 所 琉球大学病院 大学院セミナー室
派遣者	がんピアサポーター 1名
引率者	沖縄県地域統括相談支援センター（事務補佐員 喜瀬）
主 催	琉球大学病院 がん相談支援センター
当日の様子	<p>がん相談支援センターの医療ソーシャルワーカーの友利より「社会保障制度」についての講演</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象となる医療費、対象とならない医療費について</li> <li>・高額医療費について、高額医療制度の申請手続きについて</li> <li>・健康保険について</li> <li>・介護保険について</li> <li>・別の病院に移ると、多数該当のカウントはどうなるのか</li> </ul> <p>→原則として前病院のものは引き継がれません。いったん支払ってから後日還付手続きを行うこととなります。還付されるまで数か月かかります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国民保険から社会保険になった場合は？</li> </ul> <p>→保険者が違うので、多数該当はリセットされます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険の申請について</li> </ul> <p>→申請窓口は居住地の役場です。通院している病院名と、主治医のフルネームがわかるもの、申請する方の介護保険証を持参すると手続きしやすいです。申請して認定調査を受けていただくと、要支援・要介護・非該当などの結果通知が来ます。がんの療養をされている40歳以上の方で介護保険サービス全般について相談したいことがあれば、最寄りのがん相談支援センターや地域包括支援センターで相談することができます。</p> <p>*参加者7名・緩和ケア看護師6名（看護生含む）・院内スタッフ2名・ピアサポーター1名</p>





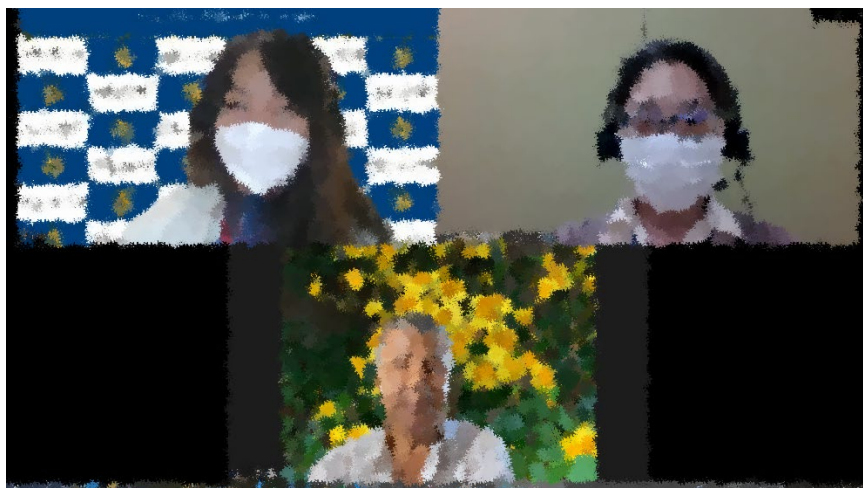
### 第3回 オンラインサロン報告書

名 称	第3回 オンラインゆんたく会
目 的	がん患者等関係者並びにがん対策関係者へ沖縄県地域統括相談支援センターで養成したがんピアサポーターを派遣し活動の場の創出を図る。
日 程	日 時 令和4年7月19日(火) 14:30~15:30 場 所 各自施設(患者) / 琉球大学病院がんセンター内 (講師・ピアサポーター)
派遣者	がんピアサポーター 1名
引率者	沖縄県地域統括相談支援センター 事務補佐員 1名
主 催	琉球大学病院 がんセンター内 沖縄県地域統括相談支援センター
当日の様子	<p>・参加者4名申込みがあったが、体調不良で2名キャンセル、当日1名欠席により、参加者1名のみで開催となる。</p> <p>・Zoom は初めて使用するが、ご家族様のサポートもあり、当日スムーズに参加していただけた。(琉大ゆんたく会で直接お申込みがあった患者様)</p> <p>・オンラインゆんたく会でのお約束事を読み上げ共通認識を図り、互いに自己紹介を終えフリートークに移る。</p> <p>○足の痺れがある。</p> <p>→前回の琉大ゆんたく会で、名嘉先生のアドバイスの通り何か痺れが楽になる素材を探して身につける等工夫を続けること。また、ピアサポーター上地より、治療後手足の痺れがあった経験を話され、日頃から行っているマッサージや竹踏みを継続することをお話する。</p> <p>○やるべきことではなくやりたいことを見つからず自宅で何もせず過ごしている。</p> <p>→やりたいことを見つけるのは難しいですよねと寄り添い、好きなことはないか問う。Youtube を見てエクササイズをすることを以前していたとのこと。無理の内範囲で好きなことを続けてみてはと促す。</p> <p>・これからのオンラインゆんたく会で取り入れてほしい内容などないか伺ったところ、マッサージやツボなどそのようなサロンがあれば参加したいとのこと。今後取り入れていけるか調整をしたいと思う。</p> <p>・今回は参加者1名とのことで、少し早めの15:20に次回の案内をし閉会となる。</p> <p>*参加者(患者様1名・ピアサポーター1名、院内スタッフ1名、事務補佐員1名)</p>



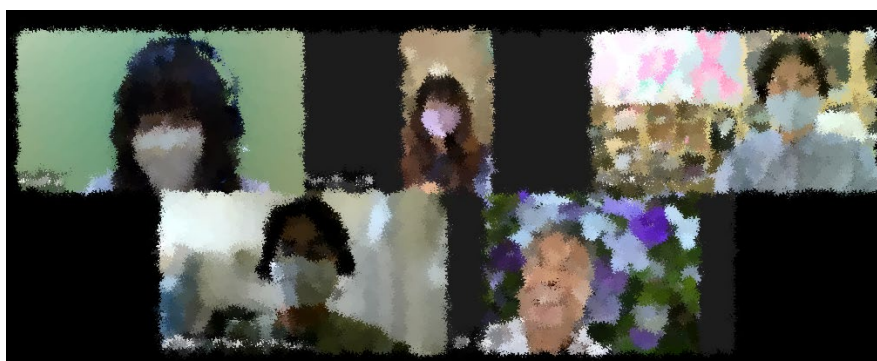
## 第4回 オンラインサロン報告書

名 称	第4回 オンラインゆんたく会
目 的	がん患者等関係者並びにがん対策関係者へ沖縄県地域統括相談支援センターで養成したがんピアサポーターを派遣し活動の場の創出を図る。
日 程	日 時 令和4年8月16日(火) 14:30~15:30 場 所 各自施設(患者) / 琉球大学病院がんセンター内 (講師・ピアサポーター)
派遣者	がんピアサポーター 1名
引率者	沖縄県地域統括相談支援センター 事務補佐員欠席
主 催	琉球大学病院 がんセンター内 沖縄県地域統括相談支援センター
当日の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者1名のみで開催となる。</li> <li>・事務員が欠席のため、ピアサポーターと院内スタッフの3名でのゆんたく会となった。</li> <li>・毎回参加される方の参加のため、自己紹介やオンライン注意事項の読み合わせは簡潔に行った。</li> <li>・今回は好きな言葉を共有するテーマで開始。</li> <li>・患者さまの好きな言葉の好きになった経緯や思いを聴き話が弾んだ。</li> <li>・参加者の患者さんは悩みや不安を聴いてもらいたいというよりも、コロナ禍で対面で話す機会が減っている中でのコミュニケーションの場を楽しんでいるように感じる。</li> </ul> <p>人に会えず話す交流の場があることで毎月の楽しみに日々頑張れるのではないのかと思う。</p> <p>・今回は参加者1名とのことで、少し早めの閉会になるかと思ったが、時間が過ぎるのもあっという間で、日頃の何気ない会話に花が咲き、予定通り15:30に次回の案内をし閉会となる。</p> <p>*参加者(患者様1名・ピアサポーター1名、院内スタッフ1名)</p>



## 第5回 オンラインサロン報告書

名 称	第5回 オンラインゆんたく会
目 的	がん患者等関係者並びにがん対策関係者へ沖縄県地域統括相談支援センターで養成したがんピアサポーターを派遣し活動の場の創出を図る。
日 程	日 時 令和4年9月20日(火) 14:30~15:30 場 所 各自施設(患者) / 琉球大学病院がんセンター内 (講師・ピアサポーター)
派遣者	がんピアサポーター 1名
引率者	沖縄県地域統括相談支援センター 事務補佐員 1名
主 催	琉球大学病院 がんセンター内 沖縄県地域統括相談支援センター
当日の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回はいつも参加していただける患者さんに加え、患者会より1名参加。</li> <li>・オンライン注意事項とここでのお約束を読み共通認識を図る。</li> <li>・いつものようにお花のお話から開始。</li> <li>・患者会の現在の状況や近況報告もあり、コロナ禍での今後の活動を共有していただいた。</li> <li>・ご自身の体験をお話し、お互いの共通点を見つけことができお互いで話しが弾んだ。</li> <li>・日頃の運動の仕方をお話し、できるだけお散歩等取り入れて気分転換にもなると声もあがる。みなさんで日頃から運動を取り入れながら転倒を注意しようとみなさんで声掛けあった。</li> <li>・今月ラジオの収録もある旨を伝え、ラジオ広報の案内を行った。</li> <li>・15:30に時間通り閉会となる。</li> </ul> <p>*参加者(患者様1名・ピアサポーター1名、院内スタッフ1名)</p>



## 相談員研修 参加報告

### がん相談員のストレスケア

日時：令和4年8月20日（土）

10：00～12：30

場所：那覇市立病院（オンライン）

対象者：がん相談に携わる医療従事者

内容：普段、がん患者さんや家族等の面談や関わりの中で感じる、相談員自身の不安やストレスなどに目を向け、相談員自身の感情への気づき、講義や意見交換会を通して、相談員としてのこころの向き合い方や対象方法などについて学ぶ。

ピアサポーター 1名参加

#### 【相談員上地より振り返り】

医療関係者の方の参加が多く専門用語も多かったが、相談員としてストレスケアについて学んだ。これまで講座も受けストレスケアについて知識はあったが、精神科のストレスケアを専門とする先生の講演は学ぶことが多く今後の活動に活かすことができると思った。ピアサポーターの質の向上に向け、今後研修会等があれば積極的に参加したい。

## 開催概要

がんピアキャラバン（相談会）

離島やへき地を含む沖縄全域に出向き、がん患者支援を行うものである。主たる内要はがんピアサポーターや医療者によるがん相談となる。

対象：地域住民のみなさま、がん患者およびそのご家族、関心のある方

目的：①がん患者や家族の不安軽減  
②がんピアサポートの周知

料金：参加無料・相談無料

### ①離島がんセミナーin 宮古島

日時 令和4年9月18日（日）14：50～15：30  
場所 宮古島市未来創造センター スタジオ1  
ピアサポーター派遣 1名

#### 【振り返り】

個別相談予定だったが、質疑応答へ当日変更。

ピアサポーターの体験談を話つつ、地域統括相談支援センターの事業活動を知ってもらえる良い機会となったのではないだろうか。アンケートでは、地域統括相談支援センターの相談員の温かい語りかけ寄り添いが印象に残ったとのコメントをいただいた。

参加者 15名



▲当日の様子

②がんピアキャラバン～泣いていい場所、提供します～

日時 1日目：9月19日（月・祝）14：00～16：00

2日目：9月23日（金・祝）14：00～16：00

14：00、14：30、15：00、15：30（1組につき30分）全8回

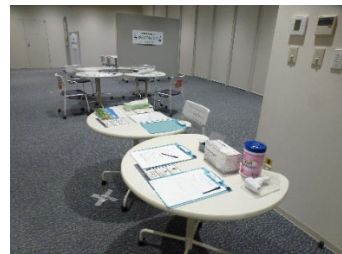
場所 県立図書館 4F 交流ルーム

ピアサポーター派遣 各日1名

参加者 全3組（1日目：2組／2日目：1組）

【振り返り】

日時決定が開催日直前だったが、ホームページやチラシを見て参加していただきました。相談のために病院へ来院するよりも公共の場で相談会を設けることで、ハードルも下がりこのような機会を利用しやすく感じた。また、祝日ということもあり、来館者も多く、多くの方に地域統括相談支援センターの事業を知ってもらう機会になったと思う。患者さんのプライバシーを守るためにもパーティションで仕切りを入れ、感染対策のためにも換気と距離を取り相談会を行った。



◀当日会場の様子

## 開催概要

1. 名称 がんピアサポート展  
～経験したからこそ分かりあえること～
2. 日時 ①令和4年 9月7日(水)～10月3日(月)  
9:00～20:00(休館日:火曜日除く)  
②令和4年 9月18日(日) 10:00～16:00
3. 場所 ①沖縄県立図書館 4F展示エリア  
②宮古島市未来創造センター 研修室1～3
4. 対象 地域住民のみなさま、がん患者およびそのご家族、がんに関心のある方
5. 目的 沖縄県地域統括相談支援センター普及広報  
がん患者やその家族が抱えている不安や心配などをがん体験者  
(ピアサポーター)が自身の体験に基づき、同じ立場で話したり聴いたり  
することで軽減、気持ちの整理をつける場であることを広く展示紹介する。
6. 内容 沖縄県地域統括相談支援センター活動展
  - ・センターの概要: 活動内容、相談対応時間等の情報案内
  - ・相談事例(匿名): 実際の相談内容を数点(パネル)紹介することで来場者にイメージをもたせる。
  - ・がん情報: がんサポートハンドブック、がん患者さんのための療養場所ガイド、がん冊子、がん情報図書、事業イベント案内チラシなど。

【振り返り】

- ① 県立図書館で1ヶ月間展示コーナーにて掲載・展示。がんサポートハンドブックやがん冊子を多くの方に手にとっていただいているのではないかと。アンケートも多くの方に記入いただけ、「是非県内各地でがんピアサポート展を開催して下さい」とのコメントもあった。10代から70代の方の回答があり幅広い世代に地域統括相談支援センターの活動について知ってもらえたと感じた。
- ② 1日のみの開催とのことで冊子の動きは大きくはなかったが、パネルにて活動についても掲載、地域統括相談支援センターの事業を知っていただけたのではないかと。離島からのオンラインや電話相談もできる旨も周知した。



▲①県立図書館



▲②宮古島市未来創造センター